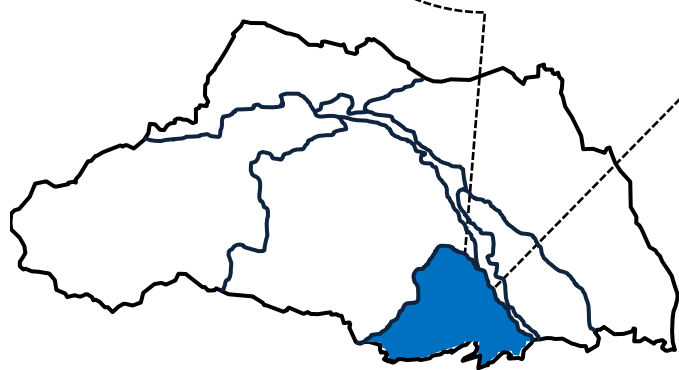


(2)Bブロック(新河岸川ブロック)

新河岸川ブロックは、関東平野の中央部、荒川水系の南端、埼玉県南西部に位置し、荒川低地とその後背に広がる武蔵野台地、狭山丘陵を含んだ地域です。ブロック内の県管理の主な河川は、新河岸川とその一次支川が7河川、及び二次支川が2河川です。



Bブロック位置図

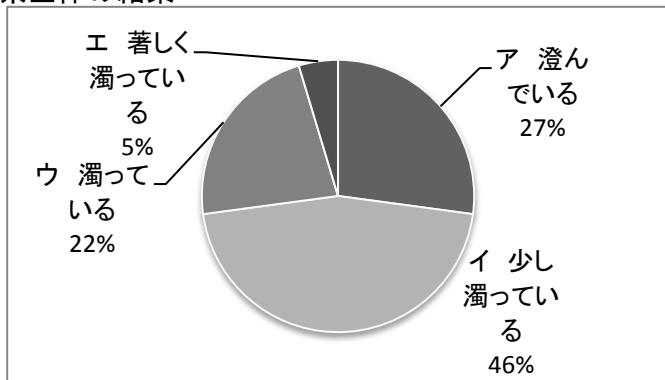
○河川の現状評価

彩の国水すましクラブ登録団体が日ごろ河川浄化活動を実施している河川環境をどのように感じているかを調査し、取りまとめました。

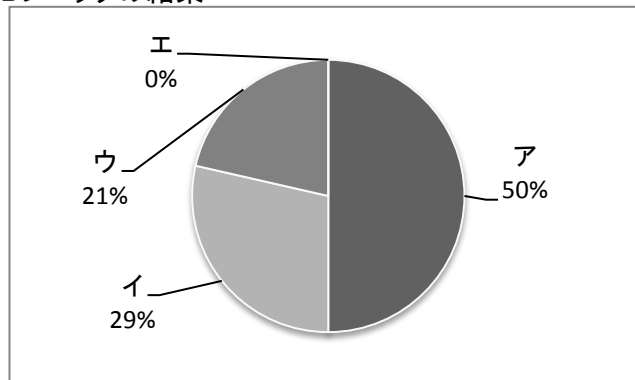
【1見る (1)川の水 ①透明感】

項目	現状の評価
①透明感	ア 澄んでいる
	イ 少し濁っている
	ウ 濁っている
	エ 著しく濁っている

県全体の結果



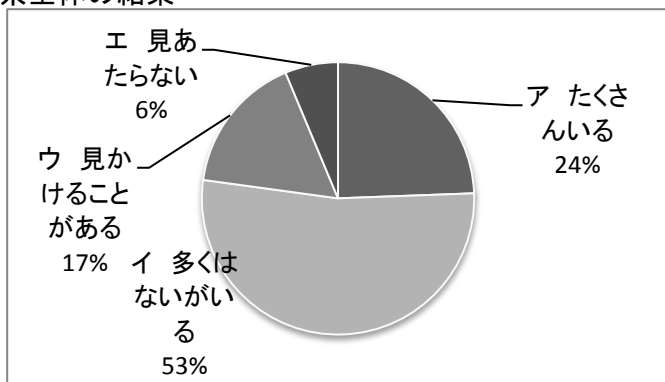
Bブロックの結果



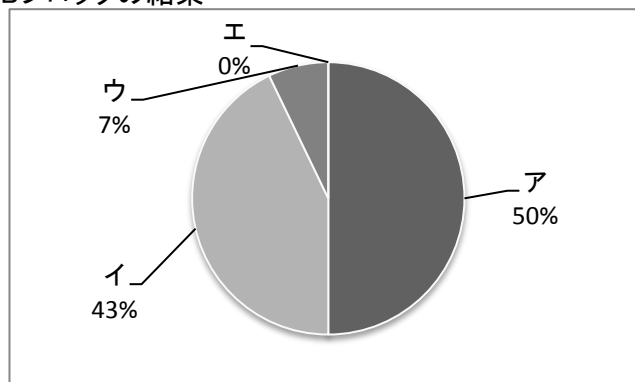
【1見る (1)川の水 ②魚】

項目	現状の評価
②魚	ア たくさんいる
	イ 多くはないがいる
	ウ 見かけることがある
	エ 見あたらない

県全体の結果



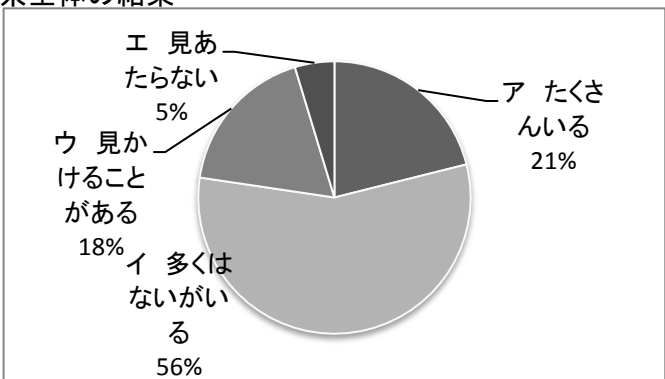
Bブロックの結果



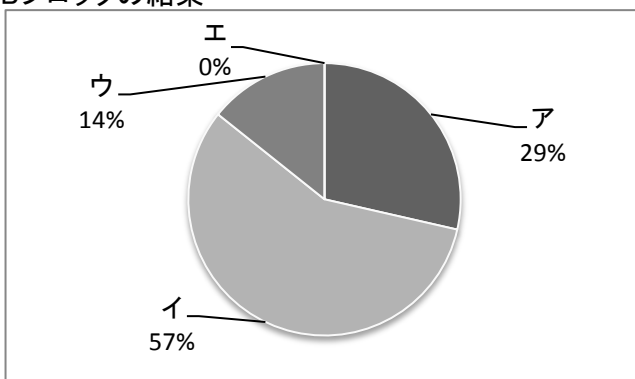
【1見る (1)川の水 ③鳥】

項目	現状の評価
③鳥	ア たくさんいる
	イ 多くはないがいる
	ウ 見かけることがある
	エ 見あたらない

県全体の結果



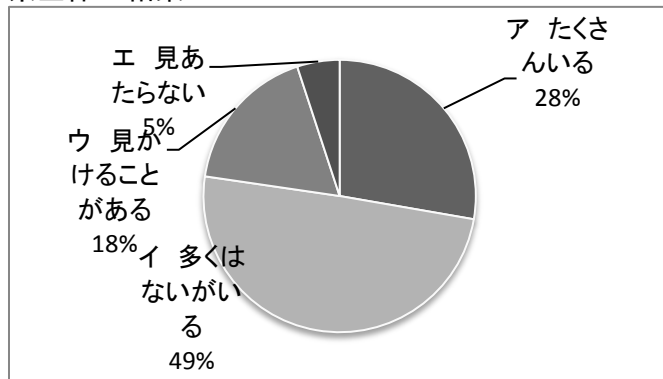
Bブロックの結果



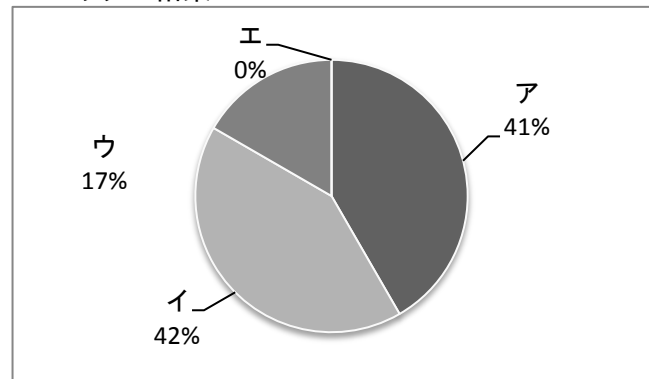
【1見る (1)川の水 ④虫】

項目	現状の評価
④虫	ア たくさんいる
	イ 多くはないがいる
	ウ 見かけることがある
	エ 見あたらない

県全体の結果



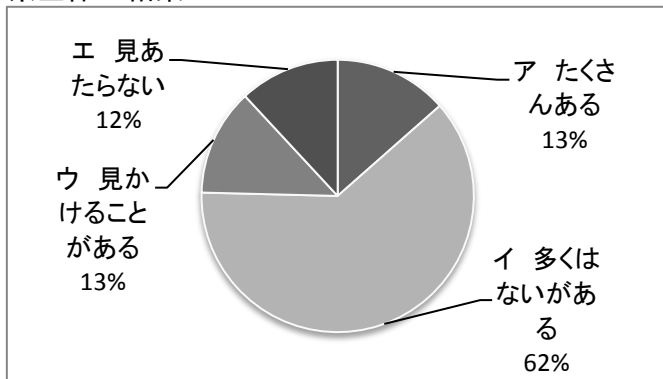
Bブロックの結果



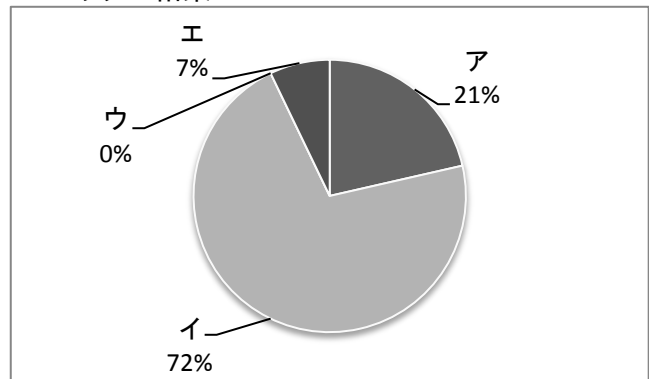
【1見る (1)川の水 ⑤水中の植物】

項目	現状の評価
⑤水中の植物	ア たくさんある
	イ 多くはないがある
	ウ 見かけることがある
	エ 見あたらない

県全体の結果



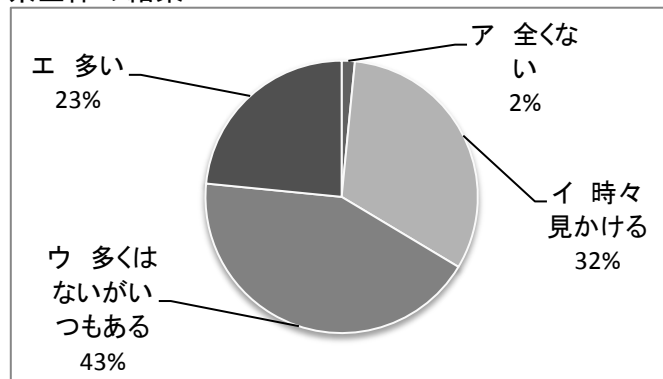
Bブロックの結果



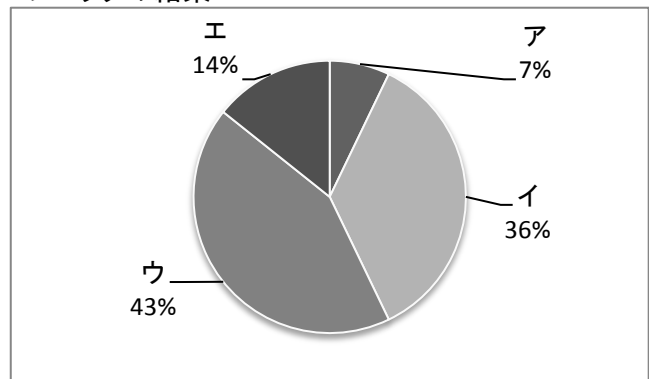
【1見る (1)川の水 ⑥ごみ】

項目	現状の評価
⑥ごみ	ア 全くない
	イ 時々見かける
	ウ 多くはないがいつもある
	エ 多い

県全体の結果



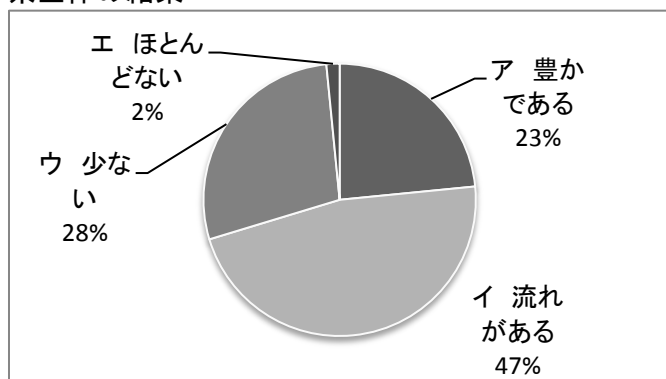
Bブロックの結果



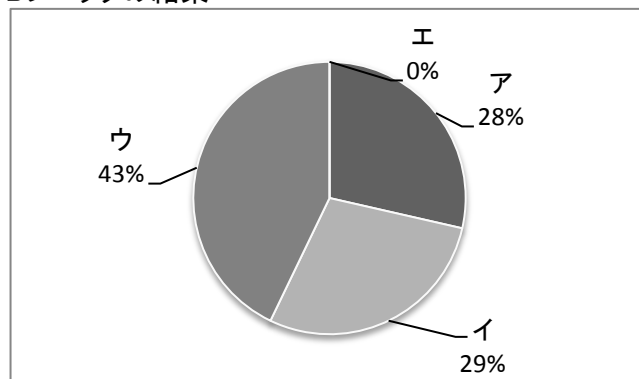
【1見る (1)川の水 ⑦水の流れ】

項目	現状の評価
⑦水の流れ	ア 豊かである
	イ 流れがある
	ウ 少ない
	エ ほとんどない

県全体の結果



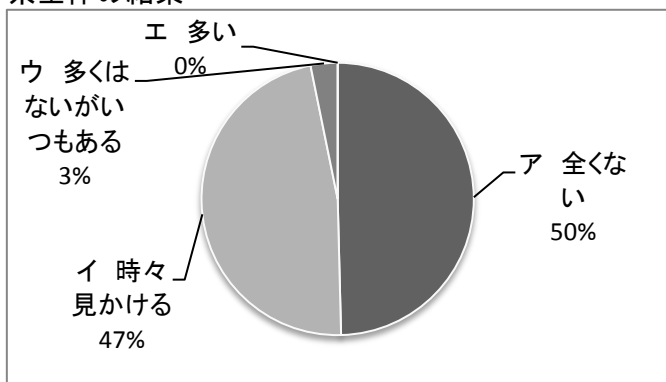
Bブロックの結果



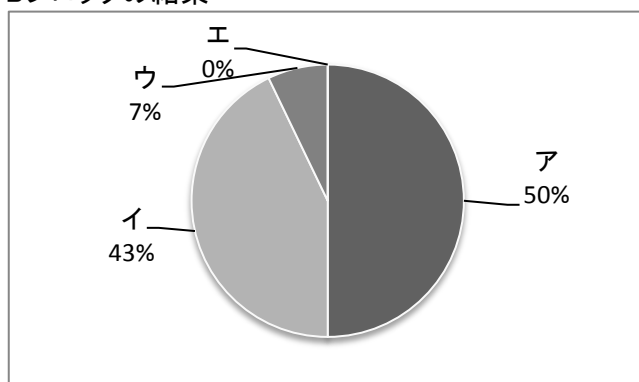
【1見る (1)川の水 ⑧油】

項目	現状の評価
⑧油	ア 全くない
	イ 時々見かける
	ウ 多くはないがいつもある
	エ 多い

県全体の結果



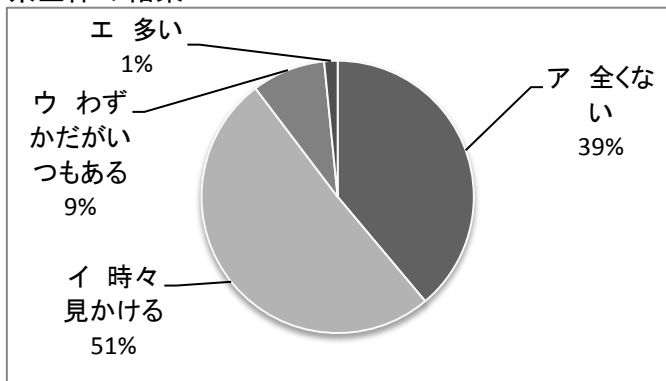
Bブロックの結果



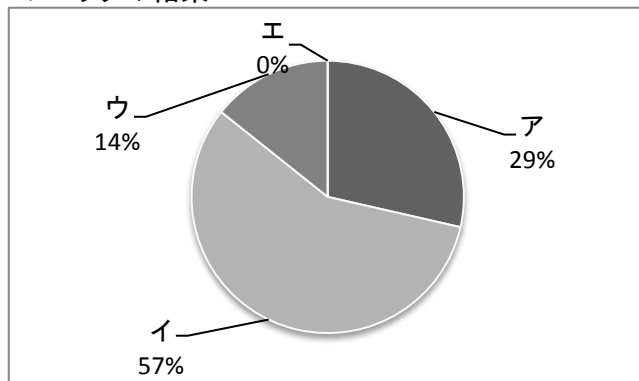
【1見る (1)川の水 ⑨泡】

項目	現状の評価
⑨泡	ア 全くない
	イ 時々見かける
	ウ 多くはないがいつもある
	エ 多い

県全体の結果



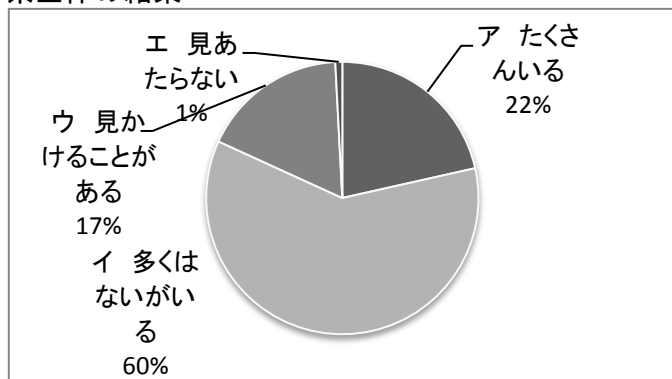
Bブロックの結果



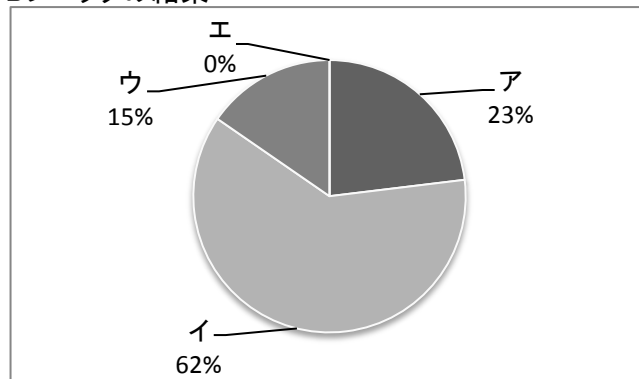
【1見る (2)川の水辺 ①鳥】

項目	現状の評価
①鳥	ア たくさんいる
	イ 多くはないがいる
	ウ 見かけることがある
	エ 見あたらない

県全体の結果



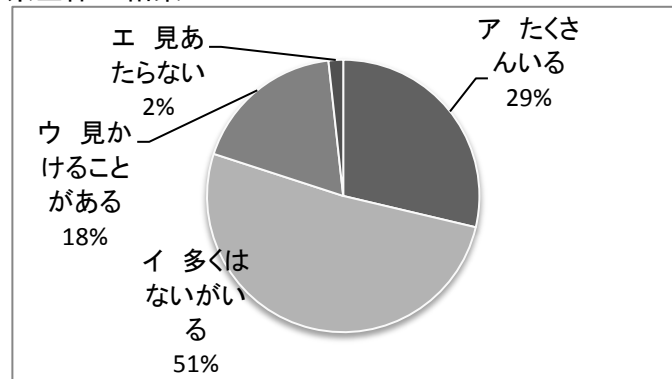
Bブロックの結果



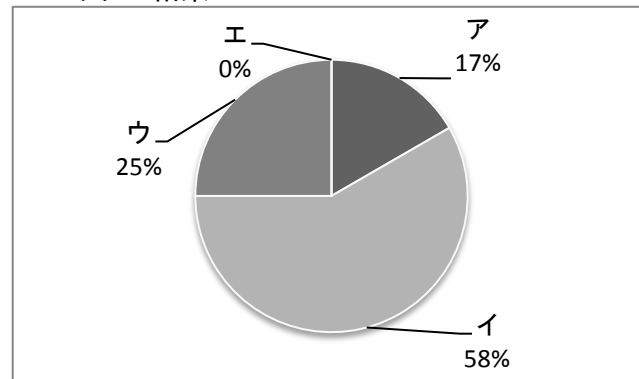
【1見る (2)川の水辺 ②虫】

項目	現状の評価
②虫	ア たくさんいる
	イ 多くはないがいる
	ウ 見かけることがある
	エ 見あたらない

県全体の結果



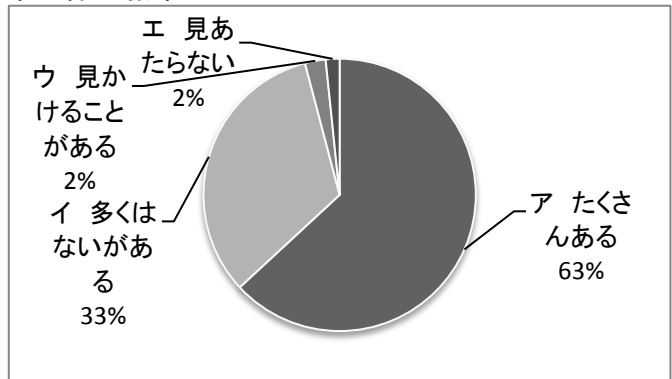
Bブロックの結果



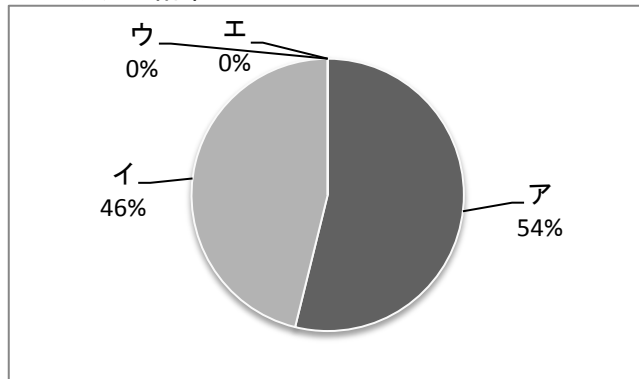
【1見る (2)川の水辺 ③川辺の植物】

項目	現状の評価
③川辺の植物	ア たくさんある
	イ 多くはないがある
	ウ 見かけることがある
	エ 見あたらない

県全体の結果



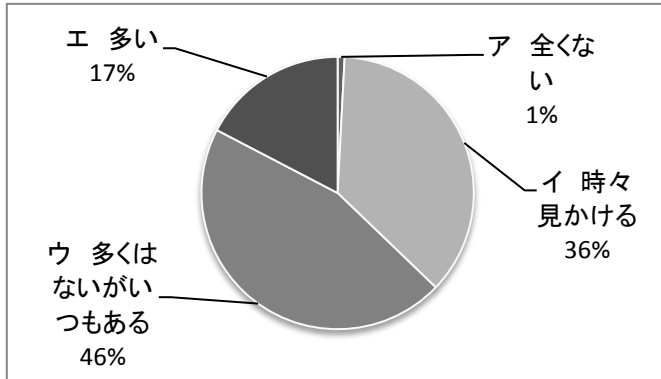
Bブロックの結果



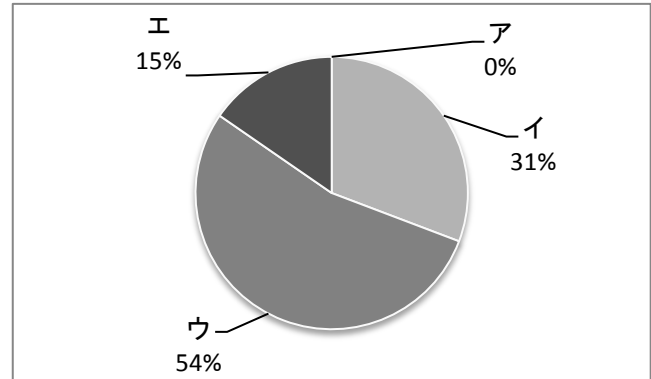
【1見る (2)川の水辺 ④ごみ】

項目	現状の評価
④ごみ	ア 全くない
	イ 時々見かける
	ウ 多くはないがいつもある
	エ 多い

県全体の結果



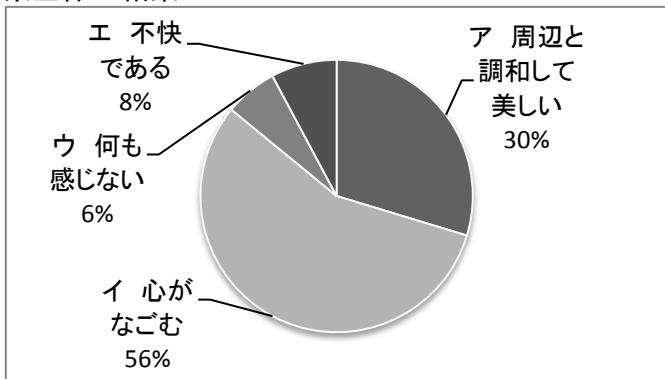
Bブロックの結果



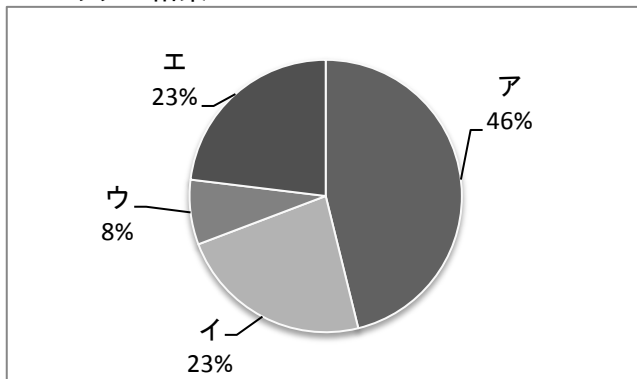
【1見る (3)川の水と水辺 ①全体の景観】

項目	現状の評価
①全体の景観	ア 周辺と調和して美しい
	イ 心がなごむ
	ウ 何も感じない
	エ 不快である

県全体の結果



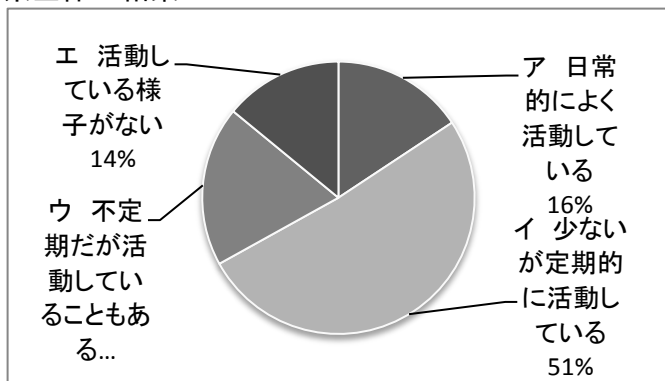
Bブロックの結果



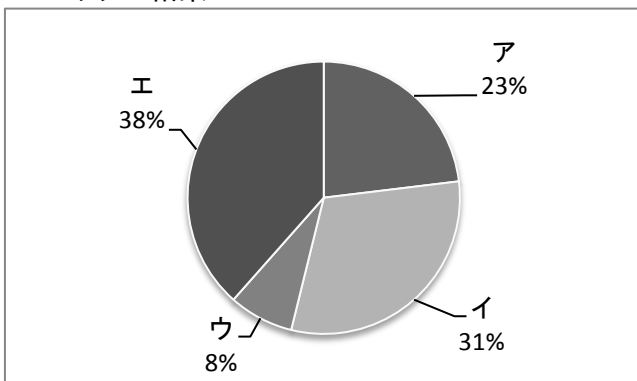
【1見る (3)川の水と水辺 ②川の浄化活動】

項目	現状の評価
②川の浄化活動	ア 日常的によく活動している
	イ 少ないが定期的に活動している
	ウ 不定期だが活動していることもある...
	エ 活動している様子がない

県全体の結果



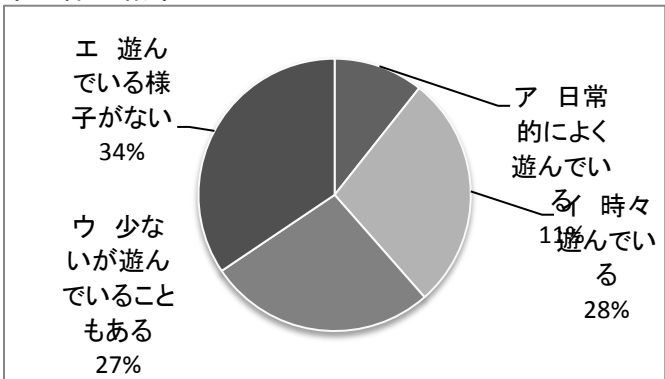
Bブロックの結果



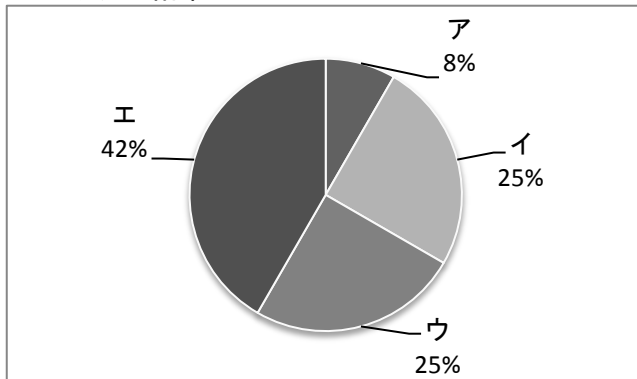
【1見る (3)川の水と水辺 ③子供たちの遊び】

項目	現状の評価
③子供たちの遊び	ア 日常的によく遊んでいる
	イ 時々遊んでいる
	ウ 少ないが遊んでいることもある
	エ 遊んでいる様子がない

県全体の結果



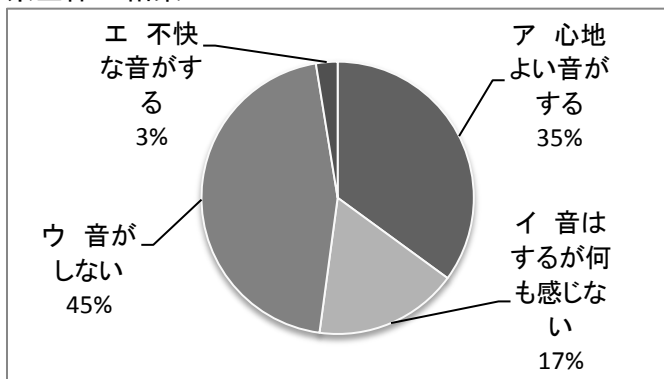
Bブロックの結果



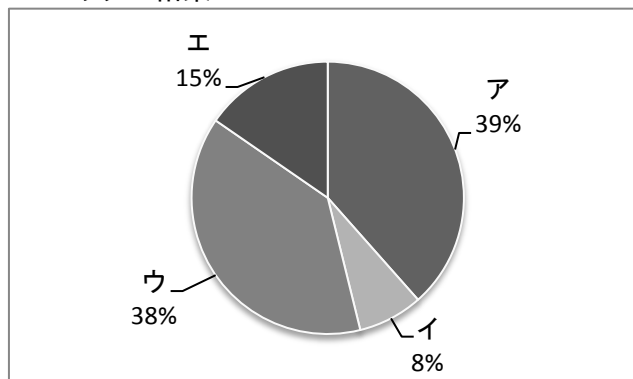
【2聞く ①聞こえる音】

項目	現状の評価
①聞こえる音	ア 心地よい音がする
	イ 音はするが何も感じない
	ウ 音がしない
	エ 不快な音がする

県全体の結果



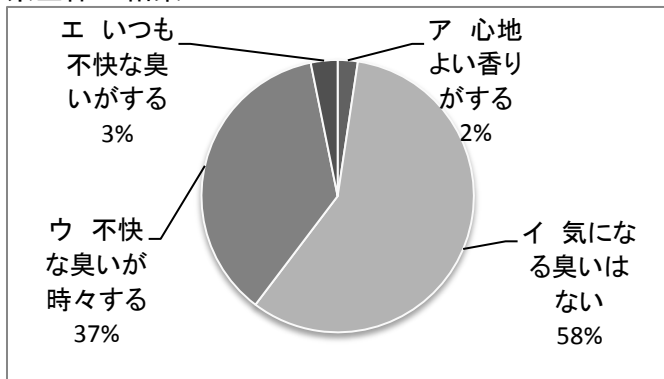
Bブロックの結果



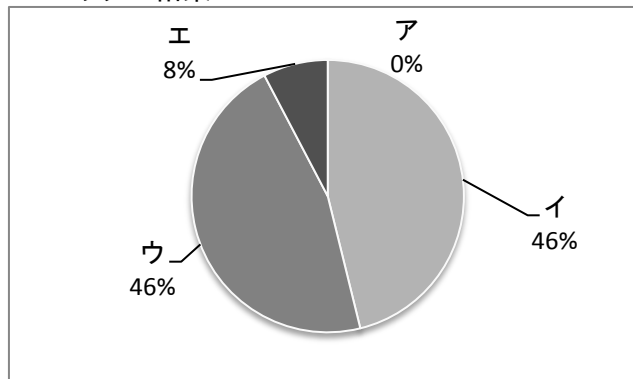
【3嗅ぐ ①におい】

項目	現状の評価
①におい	ア 心地よい香りがする
	イ 気になる臭いはない
	ウ 不快な臭いが時々する
	エ いつも不快な臭いがする

県全体の結果



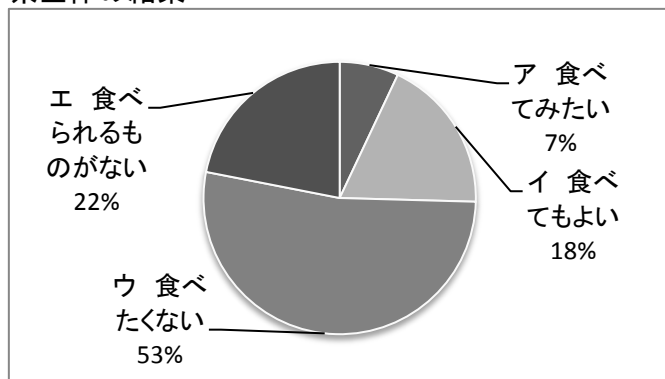
Bブロックの結果



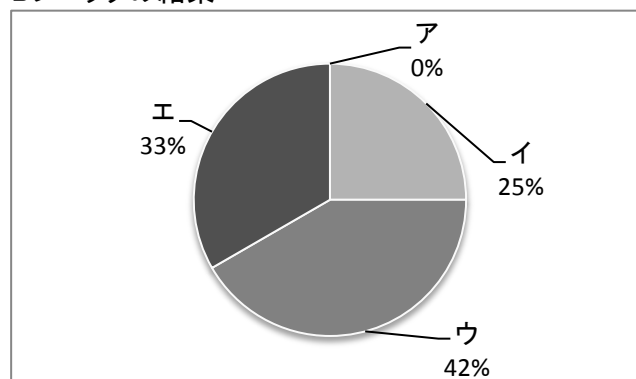
【4味わう ①魚介】

項目	現状の評価
①魚介	ア 食べてみたい
	イ 食べてもよい
	ウ 食べたくない
	エ 食べられるものがない

県全体の結果



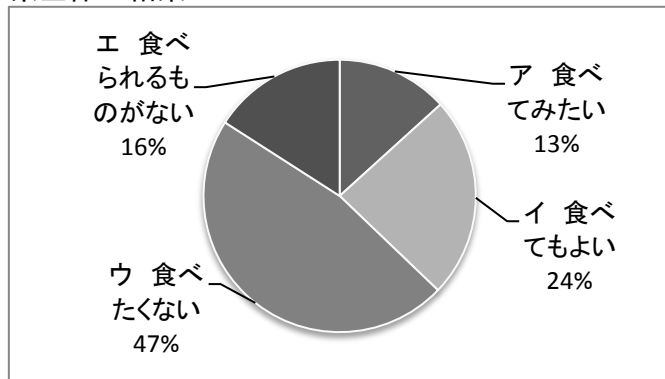
Bブロックの結果



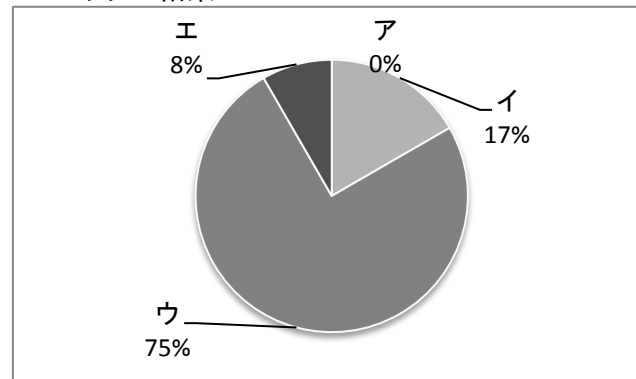
【4味わう ②食用植物】

項目	現状の評価
②食用植物	ア 食べてみたい
	イ 食べてもよい
	ウ 食べたくない
	エ 食べられるものがない

県全体の結果



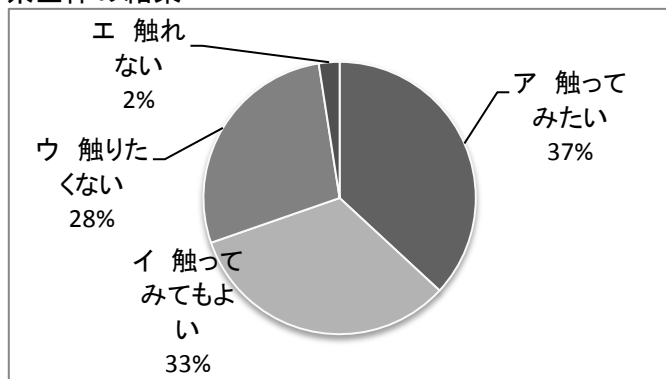
Bブロックの結果



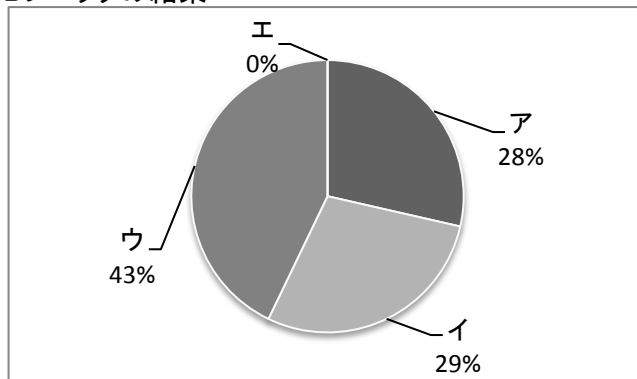
【5触れる ①水に触ってみたい】

項目	現状の評価
①水に触ってみたい	ア 触ってみたい
	イ 触ってみてもよい
	ウ 触りたくない
	エ 触れない

県全体の結果



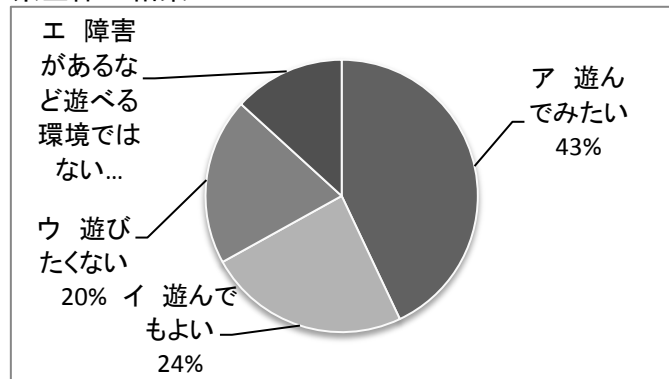
Bブロックの結果



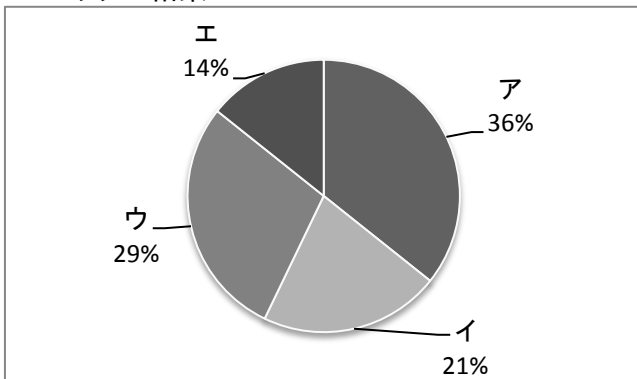
【5触れる ②水辺で遊んでみたい】

項目	現状の評価
②水辺で遊んでみたい	ア 遊んでみたい
	イ 遊んでもよい
	ウ 遊びたくない
	エ 障害があるなど遊べる環境ではない

県全体の結果



Bブロックの結果



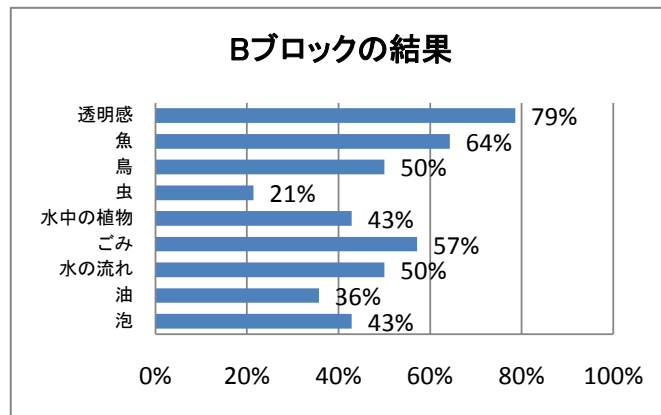
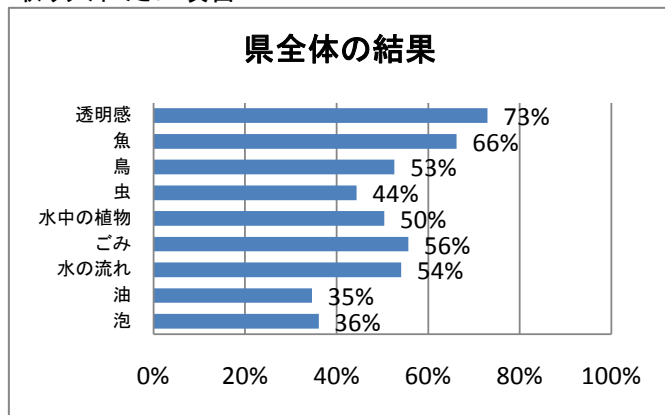
○指標として取り入れたい項目、取り入れたくない項目

五感を活用した河川環境指標に取り入れたい項目と取り入れたくない項目を調査し、結果を取りまとめました(複数回答可)。

※ 以下の回答比率(%)は回答団体数を基数として算出しましたが、複数回答の質問であるため、回答比率の合計が100%を超えることがあります。

【1見る (1)川の水】

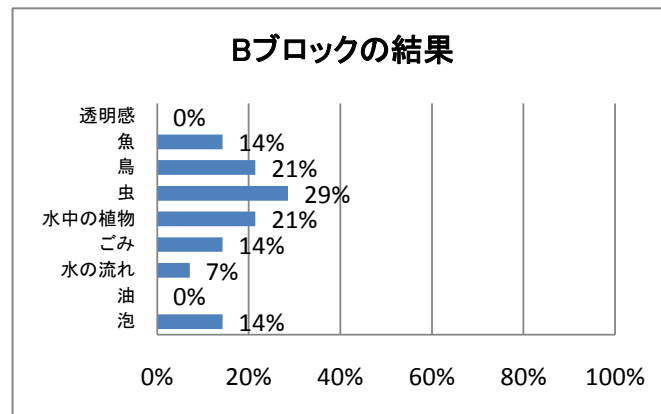
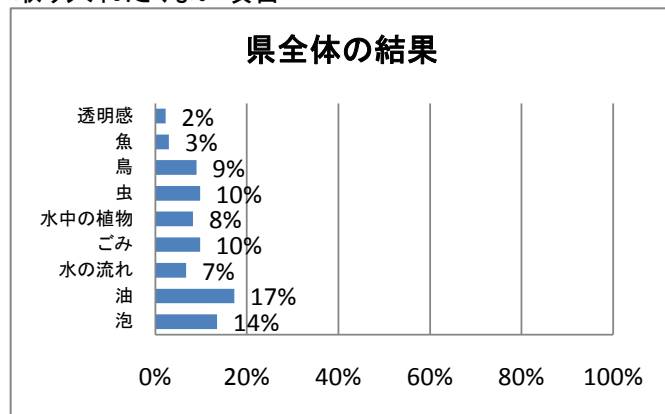
・取り入れたい項目



その他取り入れたい項目

Bブロック	・河床の形態:瀬、淵の有無、蛇行河川か直線河川か	・河床材料:コンクリート、砂礫、泥質	・水際の植生の有無
-------	--------------------------	--------------------	-----------

・取り入れたくない項目



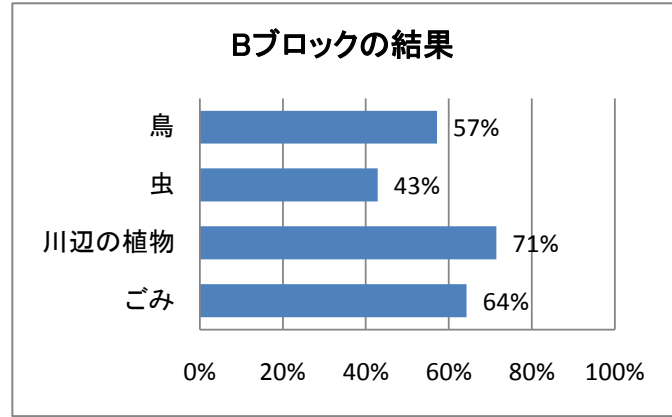
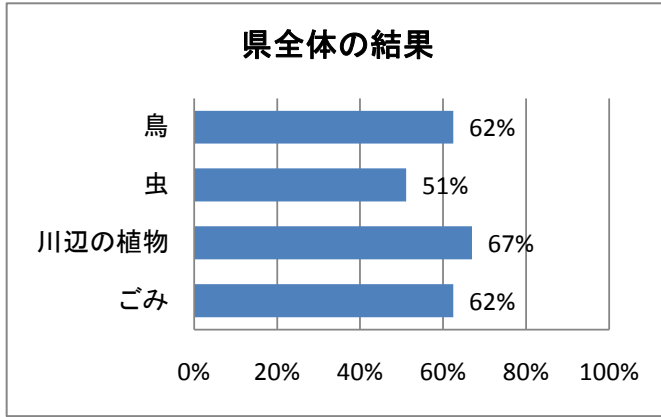
取り入れたくない理由(Bブロック)

項目	理由
① 透明感	
② 魚	・九十川の水源は伊佐沼及び入間川からの農業用水路です。生活雑排水等による流入により河川環境が悪環境 ・本来取り入れたい項目であるが、主観的な要素が特に多く、基準が全くないので判断しづらく、集計結果も信頼性がうすい
③ 鳥	・どのようなものを指すのか例を挙げて頂ければ助かる ・本来取り入れたい項目であるが、主観的な要素が特に多く、基準が全くないので判断しづらく、集計結果も信頼性がうすい ・川の中とその水辺を行き来する子供たちに似ており、1見る(3)川の水と水辺で一体として取り上げるべきと考えます
④ 虫	・どのようなものを指すのか例を挙げて頂ければ助かる ・水生昆虫とかハグロトンボなら判るが、虫一般では判断できない ・本来取り入れたい項目であるが、主観的な要素が特に多く、基準が全くないので判断しづらく、集計結果も信頼性がうすい ・川の中とその水辺を行き来する子供たちに似ており、1見る(3)川の水と水辺で一体として取り上げるべきと考えます
⑤ 水中の植物	・どのようなものを指すのか例を挙げて頂ければ助かる。 ・本来取り入れたい項目であるが、主観的な要素が特に多く、基準が全くないので判
⑥ ごみ	・川の中の近隣の人家より生活排水が放流されているため

	<ul style="list-style-type: none"> ・川の中とその水辺を歩き来する子供たちに似ており、1見る(3)川の水と水辺で一体として取り上げるべきと考えます
⑦ 水の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ・九十川の水源は伊佐沼及び入間川からの農業用水路です。生活雑排水等による流入により河川環境が悪環境
⑧ 油	
⑨ 泡	<ul style="list-style-type: none"> ・九十川の水源は伊佐沼及び入間川からの農業用水路です。生活雑排水等による流入により河川環境が悪環境 ・川の近くの人家より生活排水が放流されているため

【1見る (2)川の水辺】

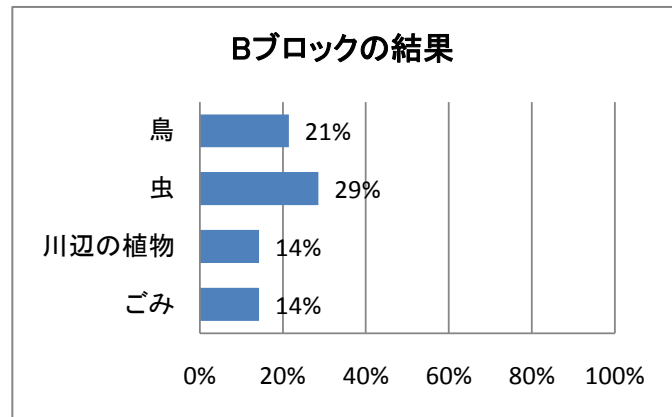
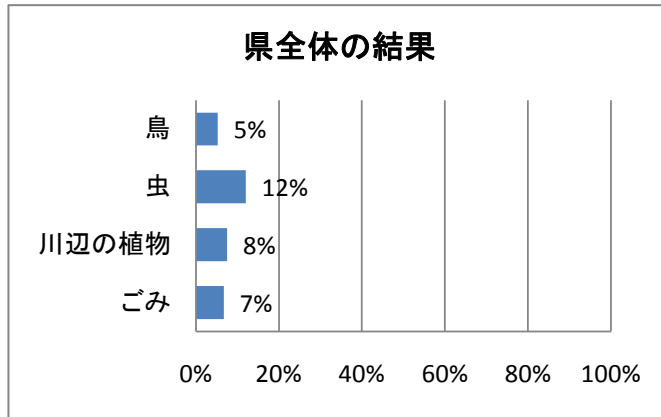
・取り入れたい項目



その他取り入れたい項目

Bブロック	・河岸の状況(コンクリートむき出し護岸、コンクリートに覆土した河岸、蛇籠護岸、天然河岸の方が川の良否についてのより本質的な指標である) ・景観(木陰、自生の草花)
-------	---

・取り入れたくない項目

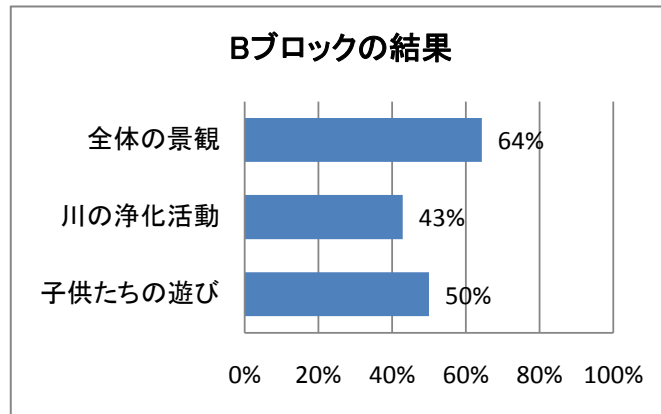
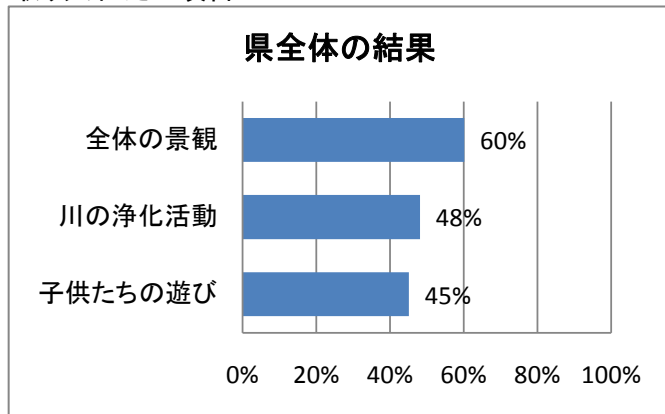


取り入れたくない理由(Bブロック)

項目	理由
① 鳥	<ul style="list-style-type: none"> ・カワセミやカモ類がいるかどうかは取り入れたいが、これらが見あたらなかったからといってダメだとも言えない。また、鳥一般(カラス、スズメ含む)の有無では指標にならない。虫も同様。 ・主観的な要素が特に多く、基準が全くないので判断しづらく、集計結果も信頼性がうすい。 ・当4項目は川の中とその水辺を行き来する子供たちに似ており、1見る(3)川の水と水辺で一体として取り上げるべきと考えます。
② 虫	<ul style="list-style-type: none"> ・虫の種類が多くて何を指しているのかわかりにくい。益虫、害虫、様々ありますので。 ・カワセミやカモ類がいるかどうかは取り入れたいが、これらが見あたらなかったからといってダメだとも言えない。また、鳥一般(カラス、スズメ含む)の有無では指標にならない。虫も同様。 ・主観的な要素が特に多く、基準が全くないので判断しづらく、集計結果も信頼性がうすい。 ・当4項目は川の中とその水辺を行き来する子供たちに似ており、1見る(3)川の水と水辺で一体として取り上げるべきと考えます。
③ 川辺の植物	<ul style="list-style-type: none"> ・主観的な要素が特に多く、基準が全くないので判断しづらく、集計結果も信頼性がうすい。 ・当4項目は川の中とその水辺を行き来する子供たちに似ており、1見る(3)川の水と水辺で一体として取り上げるべきと考えます。
④ ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ・当4項目は川の中とその水辺を行き来する子供たちに似ており、1見る(3)川の水と水辺で一体として取り上げるべきと考えます。

【1見る (3)川の水と水辺】

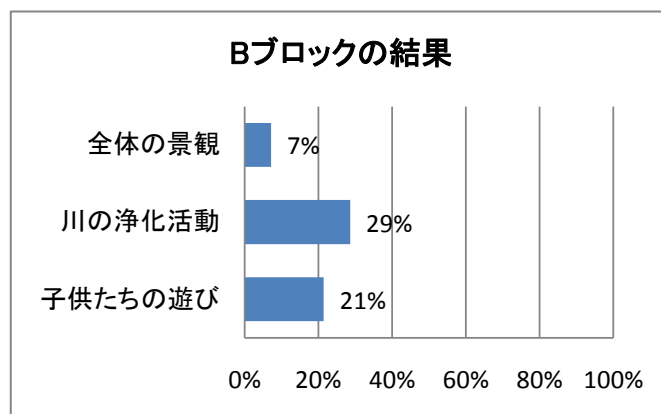
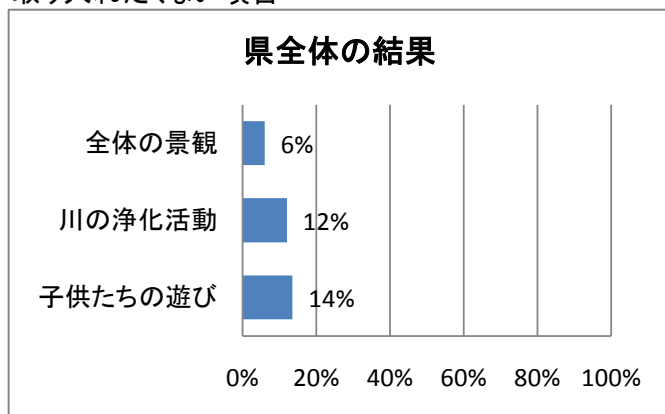
・取り入れたい項目



その他取り入れたい項目

Bブロック・鳥・虫・植物・ごみ

・取り入れたくない項目

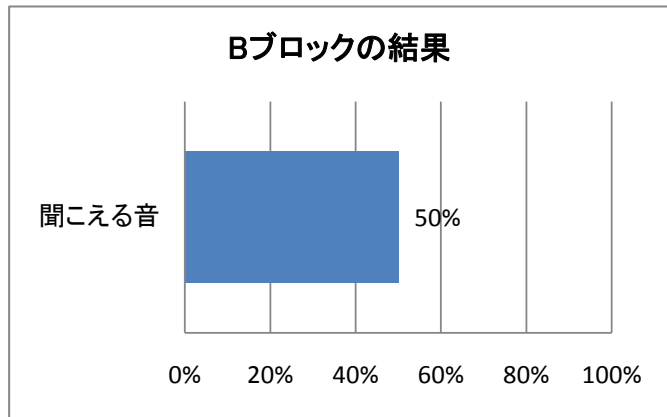
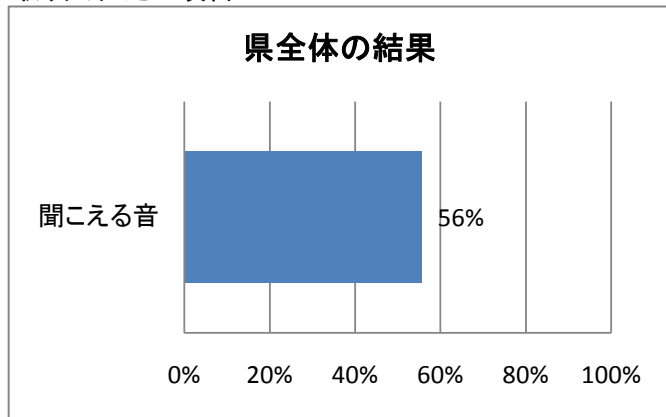


取り入れたくない理由(Bブロック)

項目	理由
① 全体の景観	・見た目ということだと思いがピンとこない。
② 川の浄化活動	・川の浄化活動を良くしても利用者の大半のマナーが悪く綺麗でないこともままあるので。
	・農業用水としての役割があるので、管理者との調整が必要となる。
	・川の良否は僅か2~300m程度のエリアの中では決められない。上流から下流までの川全体で判断することが重要。5分勾配のコンクリート護岸の川では川に降りることは困難。川の中で子供らが遊ぶことの可否は水質の化学的検査や大腸菌検査による判断が不可欠。(水に触れる程度なら前述したように水道水での手足の洗浄が必要)
③ 子供たちの遊び	・下水道が完備しておらず、周辺の住民の意識がまとまっていない。
	・農業用水としての役割があるので、管理者との調整が必要となる。
	・事故が心配、安全確保が大きな課題
	・川の良否は僅か2~300m程度のエリアの中では決められない。上流から下流までの川全体で判断することが重要。5分勾配のコンクリート護岸の川では川に降りることは困難。川の中で子供らが遊ぶことの可否は水質の化学的検査や大腸菌検査による判断が不可欠。(水に触れる程度なら前述したように水道水での手足の洗浄が必要)

【2聞く】

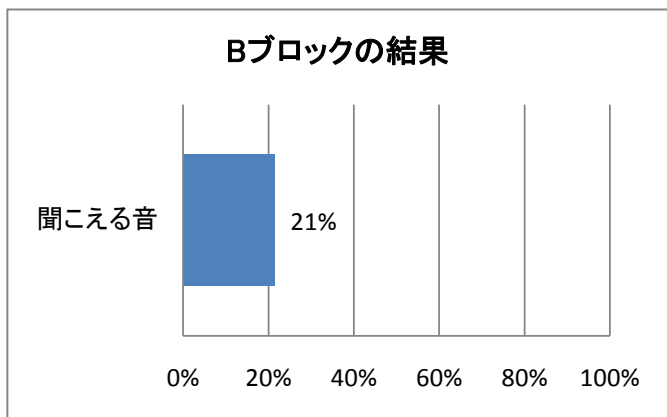
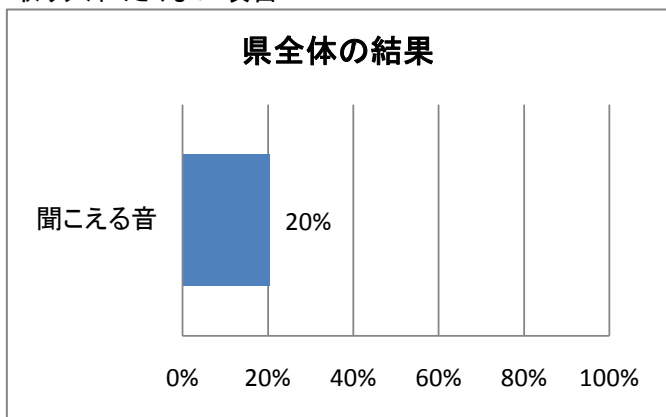
・取り入れたい項目



その他取り入れたい項目

Bブロック

・取り入れたくない項目

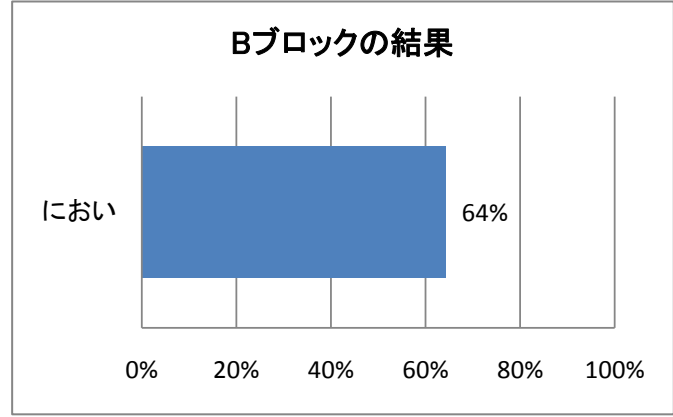
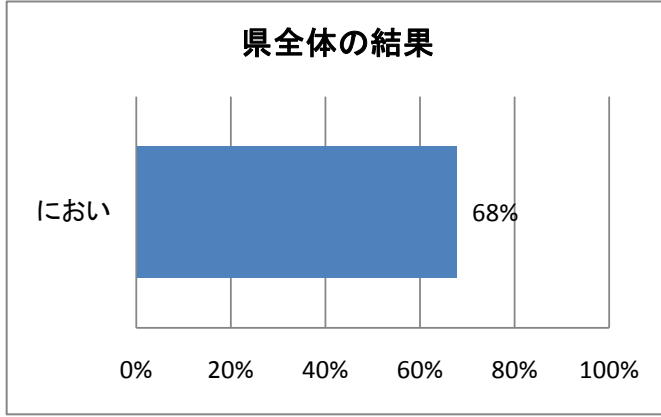


取り入れたくない理由

Bブロック	・水量が少なく、川というより水路のよう。
	・個人の好みによるので指標化するのは難しいのではないのでしょうか。
	・音の感じ方は個人ごとにばらつきがあり、また、同一人でも異なる可能性あり。

【3嗅ぐ】

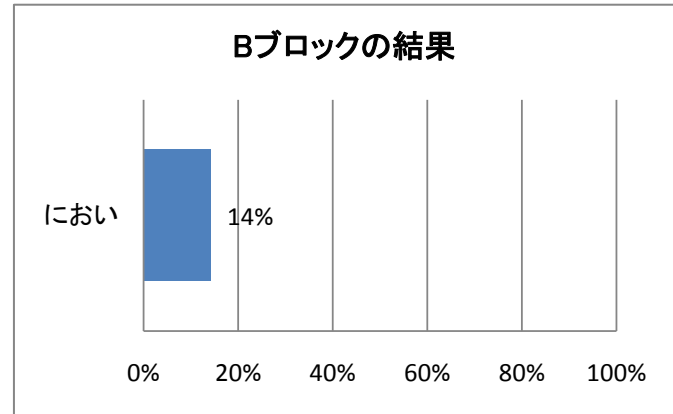
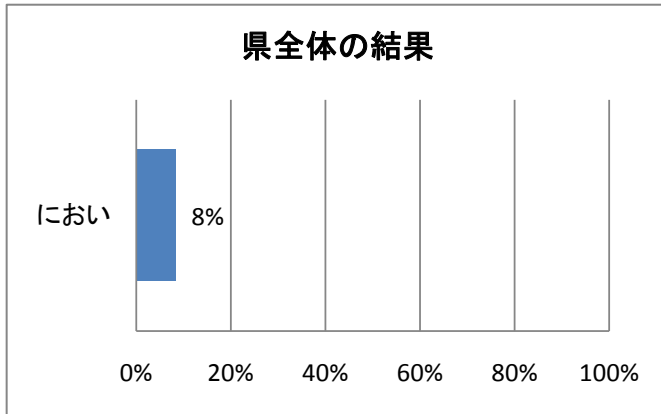
・取り入れたい項目



その他取り入れたい項目

Bブロック

・取り入れたくない項目



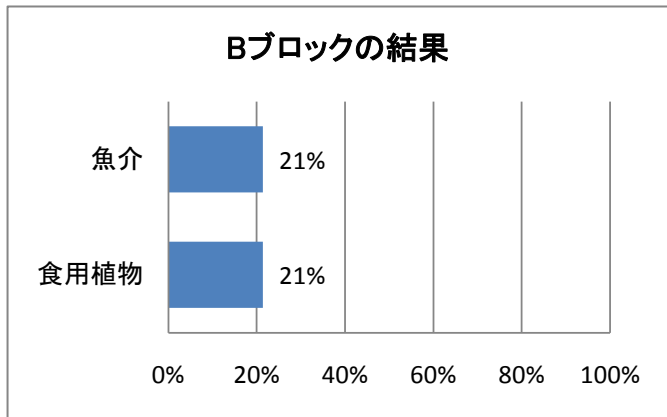
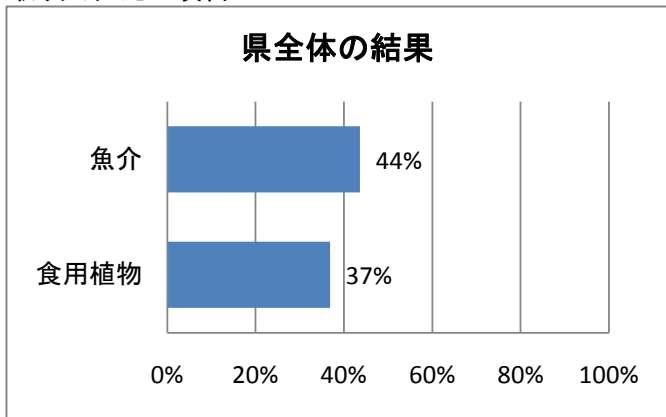
取り入れたくない理由

Bブロック

- ・心地よい香りというのがわかりにくい。例を挙げてもらうと助かる。
- ・下水道が完備するまで取り入れることはできない。

【4味わう】

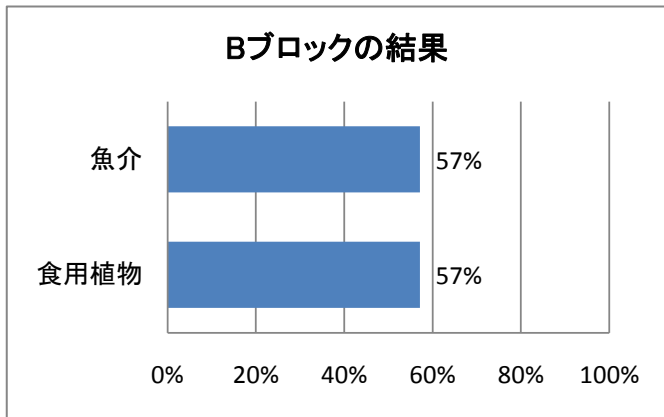
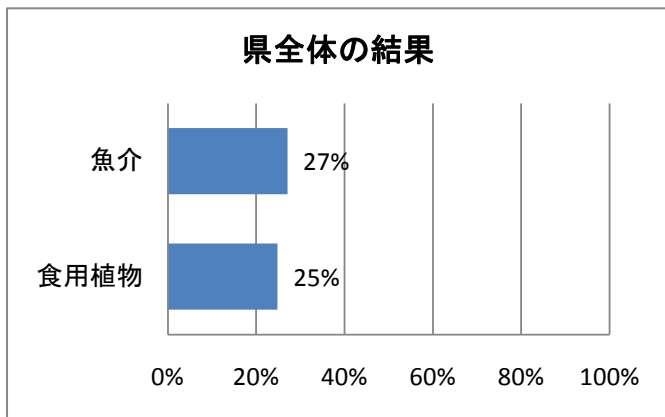
・取り入れたい項目



その他取り入れたい項目

Bブロック・水質の化学検査、大腸菌検査

・取り入れたくない項目

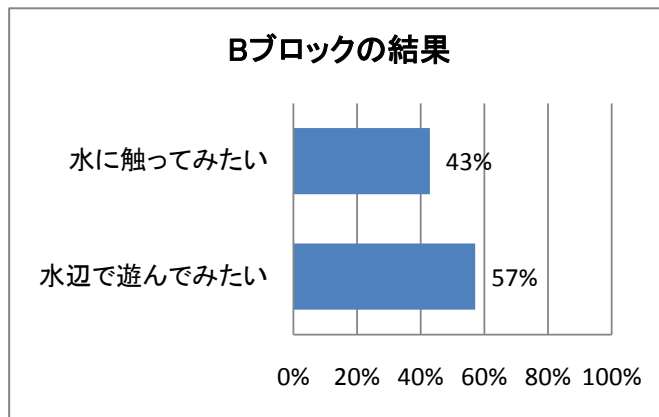
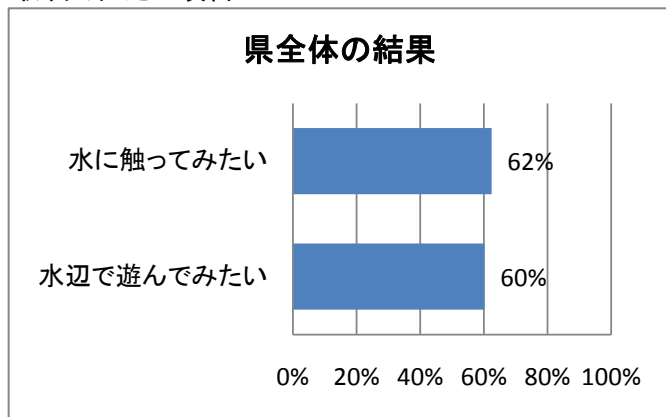


取り入れたくない理由(Bブロック)

項目	理由
① 魚介	・今は昔のように魚を釣ったり捕ったりして食べたり、自生植物を食べたりしなくなっているの。
	・河川の景観継続が重要です。鑑賞できればよい。
	・味わうに関しては現況では無理かも。
	・「食べる」については、慎重に検討したらよいと思います。
	・水質の化学検査、大腸菌検査結果がなくて、食べることを奨励するような指標を設けるのは賛成できない。
	・食用に用いることは考えられない。
	・食品に関する問題が起きている今、指標化して事故が起きたときに責任が持てない。
② 食用植物	・今は昔のように魚を釣ったり捕ったりして食べたり、自生植物を食べたりしなくなっているの。
	・河川の景観継続が重要です。鑑賞できればよい。
	・味わうに関しては現況では無理かも。
	・「食べる」については、慎重に検討したらよいと思います。
	・水質の化学検査、大腸菌検査結果がなくて、食べることを奨励するような指標を設けるのは賛成できない。
	・食用に用いることは考えられない。
	・食品に関する問題が起きている今、指標化して事故が起きたときに責任が持てない。
・良好な環境の保全、生物多様性の保持の観点から違和感。	

【5触れる】

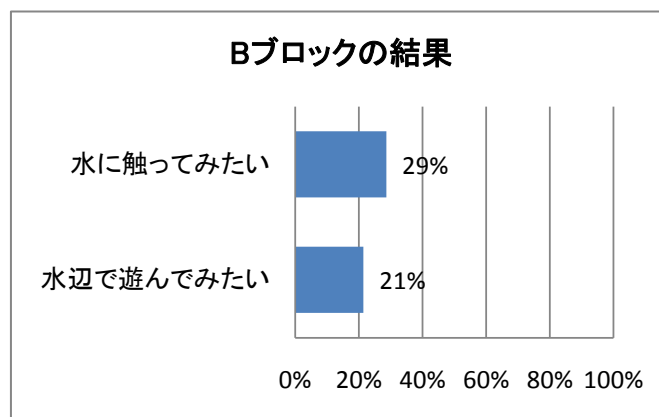
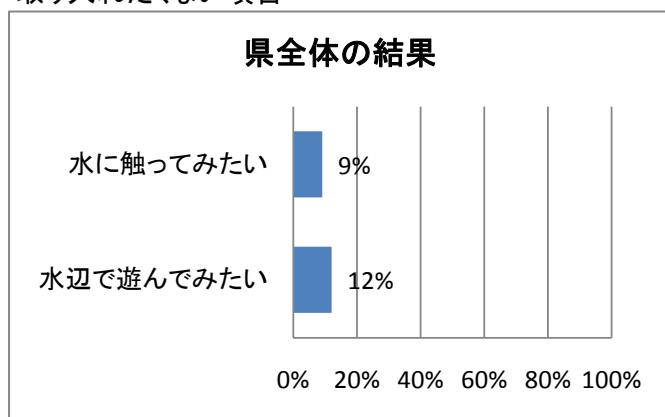
・取り入れたい項目



その他取り入れたい項目

Bブロック

・取り入れたくない項目



取り入れたくない理由(Bブロック)

項目	理由
① 水に触ってみたい	<ul style="list-style-type: none"> ・触れる環境にない。 ・川の良否は僅か2～300m程度のエリアの中では決められない。上流から下流までの川全体で判断することが重要。5分勾配のコンクリート護岸の川では川に降りることは困難。川の中で子供らが遊ぶことの可否は水質の化学的検査や大腸菌検査による判断が不可欠。(水に触れる程度なら前述したように水道水での手足の洗浄が必要) ・汚れがなくなるまで無理である。 ・子供の頃から地元の川や川辺に親しむことは大切であるが、これを指標化すると事故が起きた際に責任が持てないのではないのでしょうか。
② 水辺で遊んでみたい	<ul style="list-style-type: none"> ・触れる環境にない。 ・川の良否は僅か2～300m程度のエリアの中では決められない。上流から下流までの川全体で判断することが重要。5分勾配のコンクリート護岸の川では川に降りることは困難。川の中で子供らが遊ぶことの可否は水質の化学的検査や大腸菌検査による判断が不可欠。(水に触れる程度なら前述したように水道水での手足の洗浄が必要) ・子供の頃から地元の川や川辺に親しむことは大切であるが、これを指標化すると事故が起きた際に責任が持てないのではないのでしょうか。